



合言葉

学校だより

令和3年12月23日  
令和3年度 第9号



# 「チーム中部中」

文責  
平戸市立中部中学校  
校長 甲斐田 彰

校訓

自主

規律

責任

学校教育目標

豊かな心情

確かな学力

たくましい心身



## 【新しいリーダーの誕生】

10月17日に平戸市長および市議会議員選挙が行われましたが、4年後のこの選挙では、今の中学生の半分以上が選挙に参加することになります。

中部中学校でも12月8日(水)に生徒会役員選挙が実施されました。今年には会長に森崎幸聖さん、前田彩優さん、土田裕喜さん、前田すみれさんが、副会長男子に濱本翔太郎さん、土田峻太さん、松山希利哉さんが、副会長女子に松永あかりさんが立候補してくれました。

最初に立会演説会が行われました。どの候補者も中部中学校をよくしようという熱意にあふれた主張を述べてくれました。その後、行われた投票の結果、会長に森崎さん、副会長に濱本さんと松永さんが当選しました。

選挙で選ばれた**新しいリーダー**と、生徒会の会員が一体となって、多様性を尊重することで成長する中部中学校をつくってくれることを期待しています。



## 【開かれた学校へ向けて】

12月3日(金)は授業参観、学年PTA、PTA専門部会を開催することができました。

1年生の国語では、気に入った故事成語の発表をしました。保護者の参観のおかげで、適度の緊張感をもって語る姿が、印象的でした。

2年生の学年PTAでは、修学旅行が話題となりました。この2年間は長崎県内でしたが、来年も貸切バスで行ける九州内を候補に目的地を絞っていきたいと思います。

PTA専門部会では各専門部とも子供たちの成長を願った積極的な話し合いがなされ、頭の下がる思いでした。

また、令和5年度の県PTA大会の発表へ向けての取組も、力強く前進していると感じました。

この2年間、コロナ感染症対策のため、学校を閉じなければならなかったことが多かったのですが、本来の**開かれた学校へ向けて**注意深く確実に進めていければと思っています。



## 【ちがいを認め、互いに支え合える】

シトラスリボンをご存じですか。コロナ禍でがんばっている医療関係者などを支え、差別や偏見をなくそうと愛媛県から始まったプロジェクトのシンボルです。中部中学校でも人権週間(12月4～10日)の取組として胸に掲げました。

そして12月10日(金)には人権集会を実施しました。最初に各学年で行った人権学習の発表を行いました。特に3年生が手話を交えて歌った「ビリーブ」の合唱は印象に残りました。その後、人権標語の発表を行い、最後に、全員一致で中部中学校人権宣言を採択しました。

一人ひとりの**ちがいを認め、互いに支え合える**関係をつくる決意を新たにする集会となりました。



## 【いよいよ勝負の冬休み】

安全横断「手のひら運動」というのをご存じですか。2017年から長崎県警が進めている「道路横断前に歩行者がドライバーに手のひらを見せて横断の意思を示す」運動です。私は、いつも横断歩道では手を挙げて、自動車が進んでから渡るようにしているのですが、止まらずに行き過ぎるドライバーが、結構多いです。一時停止をしないと、**2点の減点**及び普通車で**9000円の反則金**となります。12月24日まで「年末の交通安全県民運動」も、行われています。お互いに気を付けましょう。

3年生の最終志願校が決定しました。平戸市内の高校が20名、市外の高校が12名です。夢の実現に向け**いよいよ勝負の冬休み**、ぜひともがんばってほしいと思います。1・2年生も国・数・英の実力テストは平戸市共通です。中部中の力を示すチャンスと捉え、計画的に学習を進めてくれることを期待しています。

